

地域研修カリキュラム

※講師等との調整により、カリキュラムに若干の変更の可能性があります。

オンデマンド講義 受講必須単元 約6.5時間

+他受講任意単元あり

コース	単元名／講師			時間
災害対応業務全般	1	防災行政概要	内閣府	20分
	2	災害法体系と災害対策基本の概要		15分
	3	防災計画の概要		15分
災害対策本部が行う対策立案プロセス	5-1	災害対策本部の活動サイクル	林 春男 (京都大学)	15分
	5-2	当面の対応計画の策定		10分
	5-3	当面の対応計画策定のための災害対策本部での情報処理		15分
	5-4	災害対策本部会議の進め方		15分
指揮統制総論 (世界標準に則した指揮統制)	7-3	市町村が中心になって活躍する災害対応業務6+1を理解できる	林 春男 (京都大学)	10分
被災者支援コース	9	被災者支援総論	田村 圭子 (新潟大学)	50分
防災基礎コース	18	避難行動の概要	牛山 素行 (静岡大学)	18分
	19	防災気象情報の概要	内閣府	16分
	21	災害救助法の概要		14分
	25	避難所の開設・運営の概要		15分
	30	受援体制と受援計画の概要		15分
	33	南海トラフ地震の概要		14分
警報避難コース	40	【共通】警報避難総論	井ノ口 宗成 (富山大学)	58分
	42	【共通】南海トラフ地震臨時情報	内閣府 気象庁	72分

※受講必須の単元のみを掲載(カリキュラムの全容は「オンデマンド講義 詳細」より)

リアルタイム研修

時間	単元	講師	分	単元の概要
09:30 ～09:40	- (オリエンテーション)	(事務局)	10分	
09:40 ～10:30	1【講義】個別避難計画	大塚 理加 (防災科研)	50分	個別避難計画の作成にあたって危機管理局と福祉部局との連携の重要性を学ぶ。
10:30 ～10:40	- (休憩)		10分	
10:40 ～11:30	2【講演】事例から学ぶ災害対策本部の情報収集・分析の実態と課題	有吉 恭子 (吹田市)	50分	災害対策本部の情報収集・分析業務を経験した自治体職員の実体験を踏まえた講演を通じて、業務の課題を学ぶ。
11:30 ～12:30	- (昼休み)		60分	
12:30 ～13:10	3【演習】災害対策本部の情報収集・分析の流れと活動上のポイント	紅谷 昇平 (兵庫県立大学)	40分	災害対策本部における情報収集・分析の業務の概要と基本的な業務の流れ、活動上のポイント・留意点を学ぶ。
13:10 ～14:20	4【演習】災害対策本部における情報整理演習	派遣講師	70分	情報の収集から収集した情報の整理までの一連の流れを演習で体験し、災害対策本部での情報収集の手段や収集する情報、その整理方法を学ぶ。
14:20 ～14:30	- (休憩)		10分	
14:30 ～15:50	5【演習】災害対策本部における情報分析・対策立案演習	派遣講師	80分	整理した情報を元に状況を分析し、発生している課題の把握、課題に対して目指すべき目標の設定、目標達成のための対応方針と対策を立てる一連の流れを演習で体験し、災害対策本部での情報分析の方法と分析した課題への対策の立て方を学ぶ。
15:50 ～16:00	- (休憩)		10分	
16:00 ～16:50	6【演習】ふりかえり	事務局	50分	研修を通じて学び得たものを整理し、日頃からの「備え」につなげることを演習を通して学ぶ。
16:50 ～17:00	- (閉講)	(事務局)	10分	

コーディネーター

【プロフィール】

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科 准教授

紅谷 昇平氏

三和総合研究所（現・三菱UFJリサーチ&コンサルティング）、人と防災未来センター、神戸大学を経て、2016年より兵庫県立大学准教授。神戸大学博士（工学）。主な研究テーマは、国、自治体の危機管理・災害対応、産学民連携による地域防災活動など。自治体の災害対応に関して、多くの都道府県・市町村で研修講師を務めると共に、様々な委員等の実績がある。